第１０回工学資源学部 FD シンポジウム
第３回大学院工学資源学研究科 FD シンポジウム
—学部大学院一貫教育構築のための布石—

主催　FD 委員会・教育学生委員会・学務委員会

平成 17 年９月に公表された中教審大学院部会答申では，これまでの大学院教育を「学生に対する教育と教員の研究活動が渾然一体となって実施され，学生に対する教育が研究室の中で完結する研究指導では限界がある」とし，国際的に魅力ある大学院教育の構築に向け，「大学院教育の実質化」と「国際的な通用性，信頼性の向上」を図るべく，大学院教育改革をすべきであるとしております。

本学部の教育は JABEE の導入により整備され，「教育の実質化」は進みつつあるように思われますが，大学院教育の実質化はこれからのように思われます。現在の学生は，入学時点での知識レベルが従来にも増して広くなっており，学部段階における伸びにも大幅な個人差がみられます。その履歴をもって大学院に進学して来た学生を教育し，質の保証をして社会に送り出すには，学部･大学院のカリキュラムを一貫教育という視点から見直してみることも必要なように思われます。

本 FD シンポジウムでは，このような観点から，学部･大学院教育がどうあればよいかについて議論したいと思います。

日時：平成 20 年 12 月 18 日（木）14:30～17:00
会場：VBL 棟２階大セミナー室

基調講演１

演題：「大学院 JABEE 導入による教育の改善について」
講師：静岡大学工学部物質工学科教授　須藤　雅夫　氏

基調講演２

演題：「秋田大学の大学院教育の現状—シラバスおよびアンケートによる解析結果をもとに—」
講師：秋田大学工学資源学部学務委員会委員　菊地　賢一　氏

パネル討論：学部・大学院一貫教育の必要性について

司会：学務委員会委員長　原　基　氏
パネリスト：基調講演１，２の講師